

# 平成30年度保護者・保証人のみなさまへのアンケート集計結果 — 概 要 —

平成31年3月15日

学務部学生課 文責

今年度の当該アンケート調査は、人文（社会科）学部，教育学部，医学部保健学科，理工学部及び農学生命科学部においては，総合文化祭期間中開催の保護者懇談会に参加していた保護者・保証人を対象として行い，新入生向け保護者懇談会を開催していない医学部医学科においては，郵送で対応した。（※教育学部は，3年生のみ対象とした保護者懇談会であるため，郵送でも対応した。）

回答率は，学部によってばらつきがあり，平均で53.23%であった。（昨年45.27%←1昨年51.94%）

今回も昨年に引き続き，本学の学生支援・人材育成に関するトピックを抜粋したペーパーを添付し，アンケートに回答しやすいよう環境を整え実施した。

## ○大学に対して，特に聞いてみたいことや，現在心配していることについて

お知らせください。

突出して回答の多かった事項は，「(8)卒業後の就職状況について」，次いで「(9)卒業後の進学状況について」，「(5)学生への支援体制について」となり，過去4年同様の傾向となった。

過去4年ともに保護者・保証人にとってみれば，卒業後の状況にかなり関心の強いことが読み取れた。

## ○学生への支援について，本学の支援は，どんな点が不足だと思えますか。

あるいは，今後さらに充実して欲しいと思われる支援について，お知らせください。

不足していると思われる支援事項は，「(3)就職についての支援」，「(4)学業についての支援」，「(1)経済支援」，「(2)留学についての支援」の順となり，過去4年同様の傾向となった。

また，今後さらに充実して欲しいと思われる支援については，昨年に引き続き，「(4)就職についての支援」に関する意見が多かった。特に「キャリア教育の充実」，「インターンシップの充実」を求める声が多数寄せられたほか，具体的な教員・公務員試験対策や就職情報の積極的な提供を望むなど，就職活動に強い関心を寄せていることが伺えた。

## ○保護者（保証人）の方が弘前大学に入学したお子さんをご覧になり，弘前大学になじんでいる，

あるいは，とけこんでいると思えますか？

選択肢とした「(1)入学した学部について」，「(2)勉学について」，「(3)課外活動等について」，「(4)友人関係について」で，いずれも6割以上が「特にそう思う，そう思う」と回答していた。

このことから，保護者・保証人の方々は，ご自分のお子さんが本学に概ね馴染んでいると感じていることが読み取れた。

また，「そう思わない」・「わからない」の中には，「学生が友人の話をしない」と回答している件数が10件程度あり，コミュニケーションの苦手な学生も一定数いることがわかる。

○弘前大学に入学したことに対するご感想, ご要望その他お気づきの点がございましたら,

ご自由にお書き願います。

いろいろなご指摘やご要望をいただいている中で, およそ5割の保護者・保証人の方々から, 「良い大学に入学したと思っている。」「充実した学生生活を送っている。」「懇談会の説明を聞いてサポートの様子がわかった。」等の好意的な意見が寄せられた。

しかしながら, 少数ではあるが, 留年が多いこと, 家庭へのお知らせが送られてこないこと, 飲酒の機会が多いこと, 交通の便の悪さに関する事などにも意見が寄せられた。

○障害の有無に関わらず, 学生に対するサポートについては, 保護者(保証人)の皆様との連携

が必要不可欠です。大学が行う支援として必要と考えるものがありましたら, ご自由に記載をお願いします。

平成28年4月に開設した学生特別支援室について, 「知っていた」と答えた方が53名, 「知らなかった」と答えた方が274名であり, 今後も積極的な周知活動を行う必要があると思われる。

また, 大学が行う支援として, 経済支援, 進路・就職に関する情報提供, 健康管理, 保護者同席の面談実施, 保護者への連絡(長期欠席の学生に関しても), メンタルヘルスに関する支援等の充実を求める意見が寄せられた。